

【発行所】
埼玉土建技能士会

〒331-0811
埼玉県さいたま市北区吉野町
2-220-3

電話：048-661-8139
http://www.saitama-doken.com
発行人：和田 三郎



二級建築士受験準備講座

組合の講座他の講習機
関に比べ30万円お得だ
け内容も遜色なし！この
講座で建築士を目指し
ましょう！

【日程】1月10日
【申込】支部事務所
【受講料】16万円

成川選手 銅賞受賞

3選手共に大健闘

9月19日(火)から21日(木)にかけて、全建総連主催・第33回全
国青年技能競技大会が愛知県名古屋市の「名古屋国際会議場」で開
催されました。今大会は過去3番目に多い参加者で第31回から実
施された推薦女性枠から過去最高の5人が参加しました。

20日(水)午前9時
から競技大会本選が始
まりました。関、高橋、
成川の3選手は一斉に
原寸図の作成に取り掛
かりました。「いまま
で練習した事を本番で
出し切る」と語る本選
初出場の関選手と成川
選手。3選手共、大会
直前まで練習していま
した。関選手は誰より
も早く作図を終わらせ、
成川選手も続くように
次の作業となる削りに
入りました。午前中
は3選手共に穴あけ
作業に入り、順調に
作業を進めました。
柱のねじれの調整、
面取り、木口の仕上げ
など、少しでも精
度を上げるため試合

終了まで作業を続けま
した。午後3時45分
は全員時間内に作品を
完成させ競技が終了し
ました。

三選手共 大健闘

翌日の結果発表では、
成川選手が初出場なが
らも銅賞に輝き、高橋
選手は入賞、関選手は
奨励賞を獲得し、埼玉
土建の3選手は大健闘
しました。



▲銅賞に輝いた成川選手
が、来年こそは「今回参加し

来年こそ メダル獲得を

選手一同は閉会式で
終えたその足で、埼玉
土建本部会館を訪れ、
報告会を行いました。
報告会の中で、成川選手
は「講師や皆さんのお
かげで銅賞がとれた。
この勢いで11月に行わ
れる技能五輪大会でも
良い結果を残したい」と
語り、高橋選手は
「今年もメダルを持つ
て帰れなかった
が、来年こそは
金賞を持って帰
ります」と次年
度への熱い決意
を語り、関選手
は「今回参加し

て凄く勉強になつ
た。3賞に入れ
ず悔しかった。
来年はメダルを
獲りたい」との
べ、3選手共に、
今後に向けた決
意を語ってくれ
ました。
選手指導に当
たった福島講師
(深谷寄居)は
「競技終了後、
3選手の作品を
見て、全員メダ
ルが獲れると思つた。
高橋選手と関選手は残
念な結果だったけれど
も、これで諦めずに来
年もこの調子で頑張っ
てほしい」と語り、同
じく選手指導に当たる
多比良講師(深谷寄居)
も「3選手共お疲れ様
でした。成川選手銅賞
おめでとうございます。
高橋選手と関選手も3
賞に入れなかったが、
入賞と奨励賞という上
位の成績を獲れてよく
頑張った。更にも上を
目指して頑張ってほしい」と話
されました。奥野
理事長からは「青年技



▲三選手共に大健闘

能競技大会で全国の仲
間と切磋琢磨出来るこ
とは本当にいい事だ。
技能を未来へ引き継ぐ
ためにも若い大工さん
には是非競技大会に興
味を持って参加しても
らいたい」と語られま
した。伝統建築を造る
上で欠かすことのでき
ない大工技能を未来へ
引き継いでいくため
も、若者に対する技能
継承への支援は組合だ
けにとどまらず、事業
所の親方や先輩からの
後押しがより一層求め
られています。

ものづくり技能フェスタ

碧蓮祭

10月28日(土)、29日(日)の二日間、ものづくり大学で開催が予定されていたものづくり技能フェスタ2017(彩の国技能まつり)は、台風の影響により29日は中止となり、28日のみの参加となりました。まつりには32人の仲間が参加し、物販、実演コーナー、各種体験コーナーに取り組みました。埼玉土建ブースの体験コーナーには67人の親子連れが



▲お客さんと一緒に木箱づくり



▲毎年大人気の彫金アート

来場し賑わいました。また、昨年に引き続き、厚労省委託事業である「若年技能者人材育成支援等事業」を活用した県の無料体験コーナーにも埼玉土建技能士会として参加し、33人の小・中学生がマイ箸作りを体験しました。なお実演コーナーでは、技能五輪全国大会に出場する成川弘将さん(熊谷・大工)が、公開練習を行いました。二日目には、建築大工



▲和田講師と成川選手

職種と家具職種の「第6回ものづくり大学技能競技大会」がものづくり大学・埼玉県技能士会連合会・埼玉土建・建設埼玉の共催で開催し、大会の講師に埼玉土建技能士会会長の和田二郎さん(ふじみ野・大工)、大会審査委員にもものづくり大学で非常勤講師をしている萩原陽一さん(加須・大工)が参加しました。



▲左から猪股さん、丸山さんの後継者育成に取組んでいます。今回の受賞で技術・技能に自信が持て、頂いた賞の名を汚さぬよう仕事や後進指導をしています。また、普段の仕事でも従業員

10月6日(金)東京都港区メルパルクホールで標題の式典が開催され、埼玉土建で推薦した猪股正吾さん(熊谷・大工)が建設マスター、丸山真弘さん(行田羽生・大工)が建設ジュニアマスターとして顕彰を受けました。全体では、建設マスター417人、建設ジュニアマスター108人が顕彰を受けました。

受賞者の声

成に取り組んでいきます。一方、丸山さんは「今後、更なる技術・技能を精進し建設マスターをめざして頑張ります」と、それぞれ今後も仕事、後継者育成両面にがんばる決意が語られました。

高校を卒業して約30年間大工として技術・技能にまい進してきました。今では、ものづくり大学や組合の講座で講師として後進の指導をしています。また、

優秀施工者国土交通大臣顕彰 青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰式典



▲丸山真弘さん(行田羽生)

今まで先輩方からの指導の下、青年技能競技大会や現場で、技術・技術を身につけてきました。今回受賞できたのは、自分の努力だけではなく仲間と家族の支えがあったからです。今まで支えてくださった方々に感謝申し上げます。今後、更なる技術・技能を精進し建設マスターをめざして頑張ります。



▲猪股正吾さん(熊谷)

私を支えていただいた方々、誠にありがとうございました。どうぞございました。